

江戸川八十八ヶ所「東福寺コース」 研修資料・改訂版

資料まとめ・田村

東福寺

*階段下参道

- 1, 標石 弘法大師二十一ヶ所一番札所 文政元年 参道左
- 2, 標石 江戸川八十八ヶ所総本地 昭和十三年十一月 参道右

*仁王門入る右側から

- 3, 標石 准四国八十八ヶ所 南無大師遍照金剛 光明真言成就供養 文政十一年三月吉日
- 4, 標石 第5回江戸川大師送り込み記念碑
- 5, 標石 江戸川八十八ヶ所開創記念 昭和十一年十一月十一日 碑文要約

「昭和8年6月2日より7月6日まで高野山、四国88ヶ所、初瀬長谷寺等を巡拝しお砂を戴き実景を写し当所に納め、地方真言講中並びに都鄙の善良な施主に依頼して、新たな御堂46ヶ所を建設、鑄造の尊像を安置した。旧来の御堂と合わせ88ヶ所とし、全数では91ヶ所となった。工事は着工後2か月余にて46ヶ所の尊像が立所に成就して、昭和11年11月11日に開眼供養を行った」 東福寺34世空水慈恭

発起人には46人の名があり、現在の流山市、松戸市、三郷市の人びとで秋元三左衛門、流山鉄道、服部時計店などの名がある。

- 6, 碑 送り大師記念碑 三十六カ部村 昭和三年十一月二十一日 弘法大師霊場 四月上旬から五日間許可

*仁王門左側から

- 7, 碑 弘法大師生誕千二百年記念
- 8, 碑 弘法大師巡拝塔完成記念碑 昭和39年 『流山の石仏』(昭和62年)に記載ない。後日設置か。
- 9, 弘法大師立像
- 10, 新四国八十八ヶ所鱒ヶ崎霊場巡拝塔群 昭和八年十一月十一日 平成19年完成のプレート
『流山の石仏』には昭和8年とあり、写真を見ると現在と配列が異なる。上記8の記念碑から昭和39年に設置したとする説もあるが、『流山の石仏』の調査では昭和8年とあること、8の記念碑がないことから39年建立説はない。住職の話では、昭和8年、東福寺の山の裾周辺に建立されたが昭和39年、現千仏堂前に移され、更に平成19年に千仏堂建設に伴い現在地に移された、という。5項の碑文から推察すると、昭和8年、江戸川88ヶ所の建設に先駆けて鱒ヶ崎霊場を設置したものと考えられる。

- 11, 大師堂 9体 いずれも昭和11年時のもの。

1 番札所 (阿波霊山寺・発願所)

21 番札所 (阿波大龍寺・5本松大師堂から移動)

29 番札所 (土佐国分寺・桜大門から移動)

32 番札所 (土佐禪師峰寺・犬塚から移動)

44 番札所 (伊予大宝寺・雷神社から移動)

51 番札所 (伊予石手寺・小島大師から移動)

67 番札所 (讃岐小松尾寺・加村河岸から移動) 青木源内累代菩提とある。

青木源内は松戸河岸仕切った船問屋。代々源内を継承。松戸市の記録には、源内が流山の味醂、酒、醤油、味噌、米、大豆などを扱っていたとある。また、江戸川直線化後、松戸の本多河岸は納屋河岸を利用していたことから加村河(本多河岸)とかかわりがあったと考えられ、昭和11年時、縁のある加村河岸に建立したのではないか。

88 番札所 (讃岐大窪寺・結願所・旧千仏堂から移動)

89 番札所 (番外・弁天山から移動)

大師堂入口に板書 右 1 番、21 番 左 88 番、89 番

12、碑 南無大師遍照金剛 真言講中 維明治二十有八年四月二十一日建之 88ヶ所ではない

桜山観音堂

20 番札所 (阿波鶴林寺) 文政7年と台座にある。弘法大師21ヶ所 もとは薬師院にあったが廃寺の折移動。(左) 標石は文化15年(文政元)とあるので、88ヶ所制定時も21ヶ所としたか。

昭和8年時には採用されず。

23 番札所 (阿波薬王寺) 文政9年 江戸川八十八ヶ所 もとは薬師院にあった。同じ薬師如来を本尊とする薬王寺を写した。昭和11年時は桜山観音堂の23番札所になる。(右)

標石 弘法大師二十一ヶ所内二十番 文化十五年五月

標石 新四国八十八ヶ所薬師院第二十三番阿州薬王寺写 文政九年十一月 南無大師遍照金剛

『流山のむかし』には薬師院は明治4年に廃寺になり、本尊は東福寺へ移座、延命寺蔵(みみだれ)は地区内に移動した、とある。しかし、大師像や標石は桜山観音堂に移動しているし、堂内(寮)には如来形立像(薬師如来か)、菩薩形立像(観音菩薩か)がある(『流山の仏像』)。同書には東福寺に薬師如来がない。

思井大師

61 番札所 (伊予香園寺) 明治38年 鈴木造園敷地内にある(個人所有)。許可得れば拝観可。近々しかるべき地に設置予定。

焼原大師

62 番札所 (伊予宝寿寺) 岡本家所有 焼原は岡本家の屋号

標石 江戸川八十八ヶ所焼原大師記念碑 六十二番 昭和9年11月21日

標石 江戸川八十八ヶ所六十二番焼原大師 右 52 番公園大師へ 左 32 番犬塚大師へ 近道坂下ニ左道路側中央

真城院

12 番札所 (阿波焼山寺) 右

52 番札所 (伊予大山寺) 公園大師 (富士見公園・大原神社) より移動

標石 新四国八十八ヶ所真城院第十五番札所 阿州国分寺写 文政六年十一月吉日

南無大師遍照金剛 入口にある

長福寺(愛染堂)

7 2 番札所 (讃岐曼荼羅寺) 昭和 8 年の再編時。大師像は愛染堂内。下記の 2 1 番が使用されたか。

2 1 番札所 (阿波大龍寺) 明治 2 6 年 1 月 2 0 日 『流山の石仏』

標石 弘法大師二十一ヶ所二十一番 長福寺 文政元五月吉日 当山廿三世俊能 『流山の石仏』

東栄寺は別のグループへ